

赤潮発生状況について

西岡智哉・池脇義弘・平野 匠

平成26年に徳島県沿岸域で発生した赤潮について、公式に記録することを目的とする。

方法

漁場環境調査等における観測や漁業者からの聞き取りを元に、赤潮の発生期間、発生海域、赤潮構成種、及び漁業被害についてまとめた。

結果及び考察

表1に平成26年の赤潮発生状況、図1に赤潮発生件数と被害件数の推移、図2に赤潮発生海域をそれぞれ示した。平成26年は前年より2件少ない12件の発生がみられた。平成26年3月17日に那賀川河口沖で、6月23日に鳴門市北灘沖で、ともに渦鞭毛藻の*Noctiluca scintillans*による赤潮が確認された。いずれも漁業被害はなかった。

なお、平成26年8月20日～9月9日にかけて、鳴門市北灘町沿岸および内の海で渦鞭毛藻の*Karenia mikimotoi*が増加し、赤潮注意報が発令された。ただし、海面の着色がみられないこと、警報基準値未満であることから赤潮として計数していない。また、漁業被害も報告されていない。

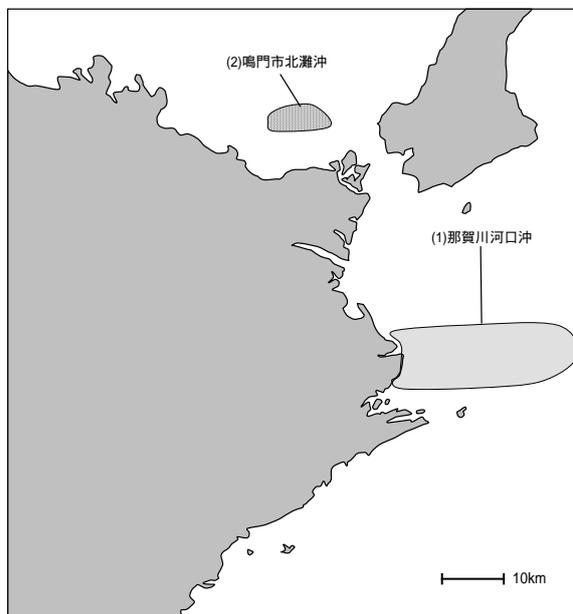


図2．赤潮発生海域。図中の番号は表1に示した赤潮の番号を示している。

表1．平成26年の赤潮発生状況

番号	発生期間	日数	発生海域	赤潮構成種	漁業被害	最高細胞数 (cells/mL)
(1)	3/17	1	那賀川河口沖	<i>Noctiluca scintillans</i>	無	188
(2)	6/23	1	鳴門市北灘沖	<i>Noctiluca scintillans</i>	無	不明

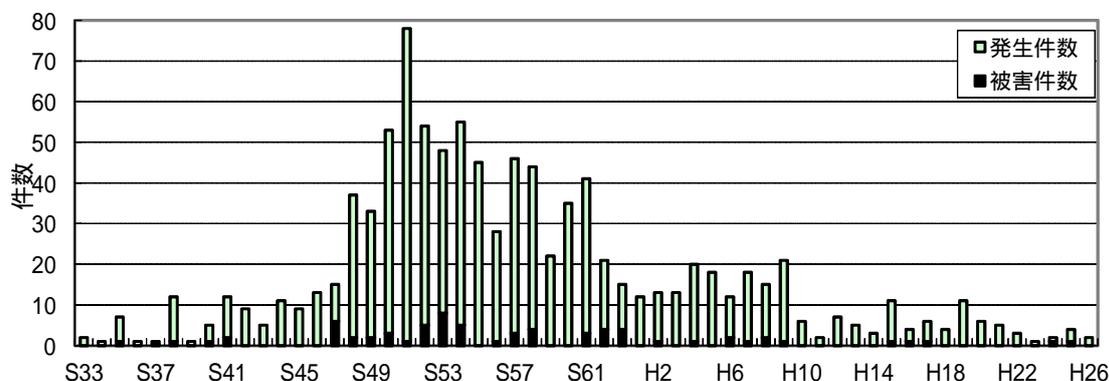


図1．赤潮の発生件数と被害件数の推移